

新製品概要

【N】

M-142 機関車用区名札インレタ1 (直流EL用)

M-143 機関車用区名札インレタ2 (直流EL用：小型タイプ)

各種機関車用の区名札インレタを製作します。第一弾は直流機関車用で国鉄時代の主要配置区から国鉄型機関車最後の配置区となった「尾久」「群馬」までを網羅してあります。各メーカーの区名札のモールドに合わせて2種の大きさを製作します。黒ベースに白文字の多色印刷で製作。

収録区 ・宇都宮 (新旧書体2種) ・高崎 (高二・高・高旧書体・高機・群) ・横川・水上・長岡 (新旧書体2種)
・東新潟・長野・篠ノ井・北松本 (松・北) ・甲府・八王子・立川・田端・尾久・東京・新鶴見・沼津
・静岡・浜松 (2種) ・豊橋・伊那松島・稲沢 (2種) ・愛知・米原・吹田 (2種) 宮原・梅小路
・竜華・岡山・瀬野・広島・下関

【16番】

KH-2087 仙石線セット1 (クモハ73+クハ79)

KH-2088 モハ72 (旧63形：仙石線仕様1)

KH-2089 サハ78 (旧63形：仙石線仕様1)

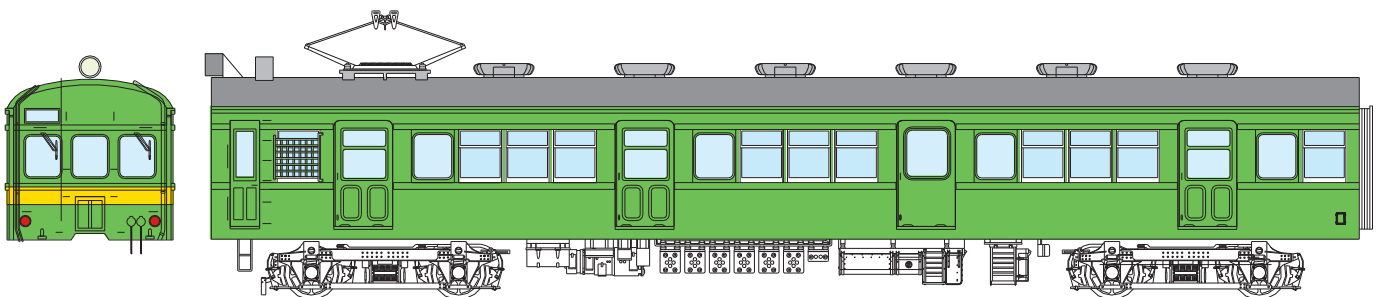
MH-121 73形仙石線用インレタ1 (クモハ・クハ)

MH-122 73形仙石線用インレタ2 (モハ・サハ)

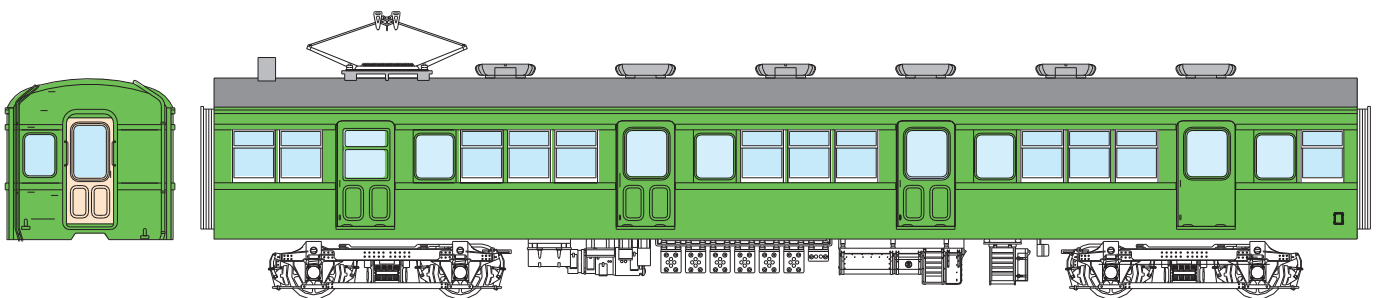
16番73形路線シリーズで仙石線を新たに展開します。第一弾は旧63形の各形式で、先頭車セットと各編成に対応出来るように中間車は単品での構成となります。各形式共にアルミサッシ化・押込みベンチレーター装備の末期のスタイルがプロトタイプとなっています。クモハ・クハの前面は全部Hゴム化されたスタイル、モハ・サハは妻板窓がサッシとなっているタイプを製作。何れも側面に修繕票差、妻板に標識灯掛けが設けられた仙石線仕様となっています。

キットは従来の73形シリーズと同様のエッチング&プレス製の車体構成となっています。側窓の戸袋Hゴム窓は窓レールパーツに貼り重ねる構成で「可部線」仕様の車輛と異なり、一段引っ込んだ形を再現してあります。特徴あるベンチレーター部分はエッチングパーツと台座パーツとの2ピース構成で再現し、各車の取り付けパターンに対応出来るようにしてあります。クモハ・モハにはロスト製の屋上・妻板の各種配管止め及びパンタ鍵外し線パーツ、メタル製のランボード・パンタ台座パーツが付属。先頭車セットにはテールライトパーツも付属します。また、キット発売に合わせて各車用の標記インレタも製作します。

台車・パンタ・ベンチレーター (トミー製対応：加工で他社製にも対応可能) ・床下機器 (弊社各形式用) は別途購入となります。



クモハ・クハの前面窓はオールHゴムタイプ。客窓はアルミサッシ化された末期のスタイル。乗務員ドア後方窓のタブレット保護網パーツも付属。



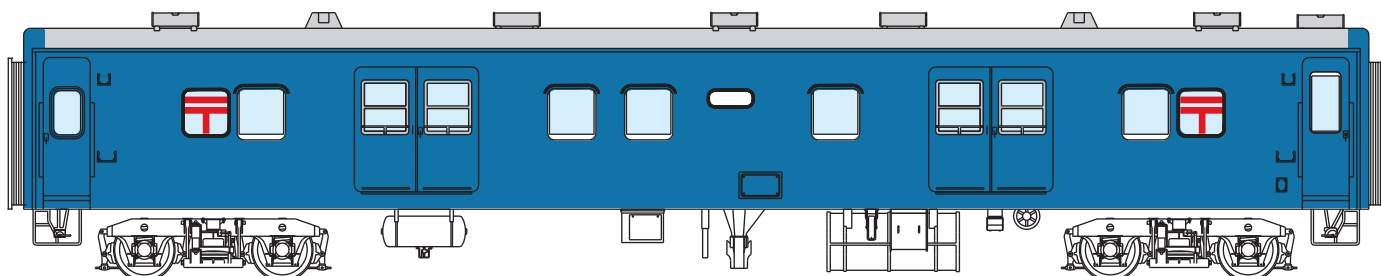
モハ前位側は2位側埋め込みタイプ。後位側妻板はサハと共に戸袋Hゴム・3位妻窓アルミサッシタイプ。

【N】

K-4129 スユ15 2019～2039

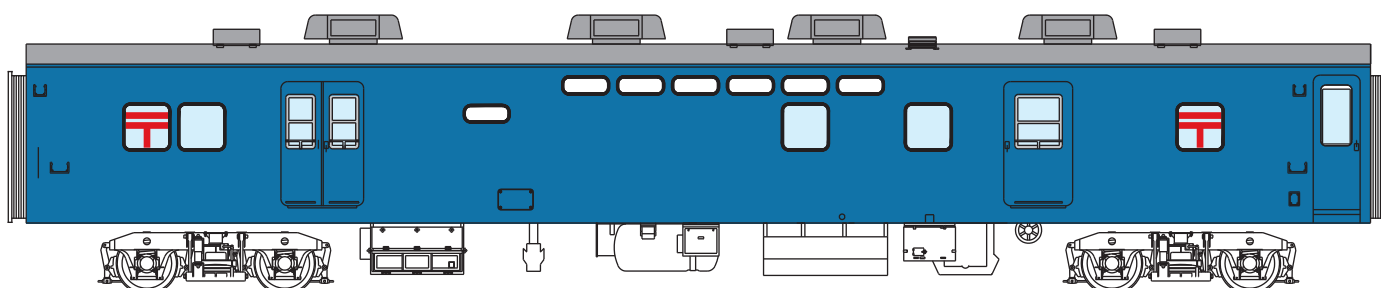
K-4130 スユ16 2200番代

10系郵便車を新仕様シリーズの続編です。既発売のオユ14等と同様にエッチング製の側板・妻板に切削による専用屋根板を組み合わせる仕様とし、床板・床下機器も16番製品のデータを活用し、専用のメタル製パーツが付属となります。手すり・保護棒等の小パーツも含まれます。台車・クーラー・ベンチレーター・インレタは別途購入となります。



スユ15 2002～2018

50系に準じた車体の後期型（2019～2039）。妻板はメタルパーツとなります。



スユ16 2200番代

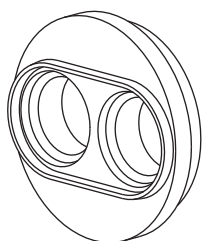
ベンチレーター（ガーランド/押込み）クーラー（グリル/メッシュ）の選択により2200番代各車が製作出来ます。上図は押込み・メッシュタイプの後期型（2205～2207）となります。

P-039 旧型客車用パーツセット2

「P-038」に続くエッチング製の旧型客車用のディテールアップパーツ。こちらは荷物車用としてデッキステップが長いタイプとなっています。デッキの手すりやデッキ下に付くステップパーツが付属。この他、テールライトの反射板・妻板ステップ・標識灯掛け（短・長）が含まれています。2～4輦分のパーツがセットされています。

P-233 2灯式シールドビーム1（101・103系等改造車用）

103系等の各種通勤車用のヘッドライトパーツ。「P-218 国電用シールドビーム1」の名称変更となります。メタル製本体とレンズの組み合わせ2組入。



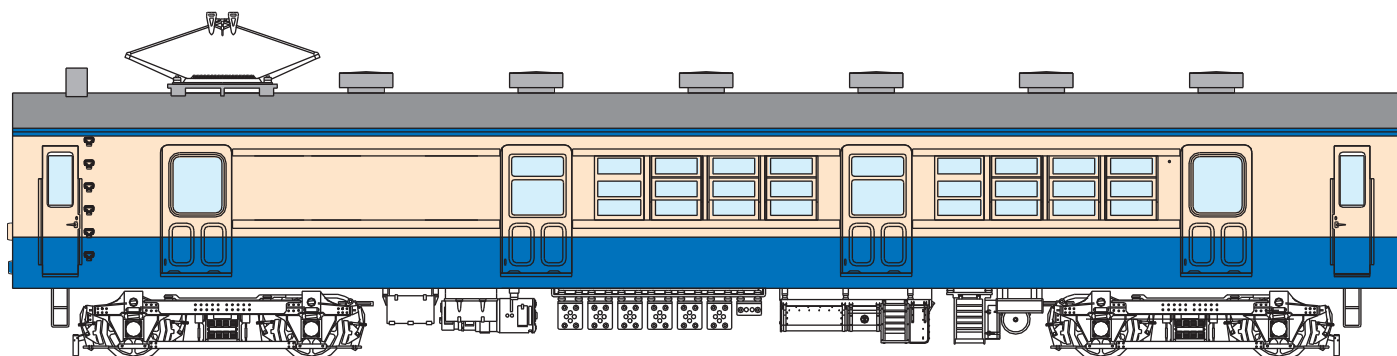
P-233

101・103系等、元は白熱灯だったヘッドライトをシールドビーム化した車輛用。
ライトレンズ周りに楕円形の縁が付いたタイプ

【16番】

KH-2090 クモハユ74 001

73形シリーズの新作です。今回はクモハユ74のトップナンバー001です。3輦改造されたクモハユ74ですが、先行でクモハ74として製作された「001」は他車と床下機器が異なり、制御・遮断器がC S 5・C B 8となっていました。キット構成は従来の73形キットシリーズに準じていて、床下機器は専用品が付属します。この他、ロスト製の各種配管止め・パンタ鍵外し線が付属します。床板はM P・パワトラの両方に対応出来るようになっています。パンタ・ベンチレーター・ライト類・動力・台車・インレタは別途購入となります。



クモユニ74001

ドア配置も実車通りの組み合わせとなっています。

PH-263 EF81300番代用パーツ3(301・302更新仕様)

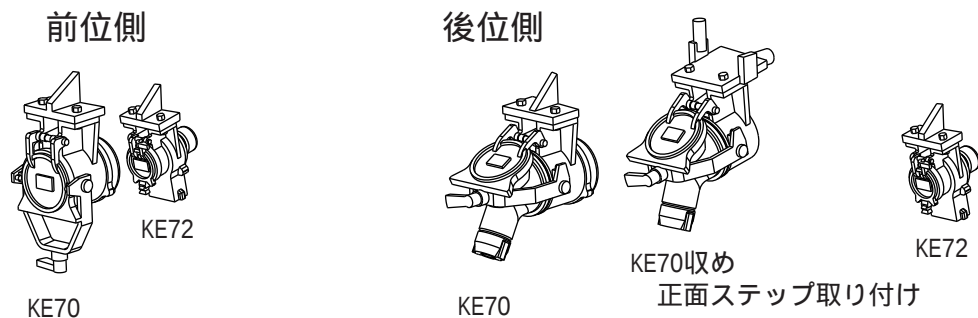
PH-264 EF81300番代用パーツ4(303・304更新仕様)

PH-310 EF81用ジャンパ栓セットパーツ1 (EF81300番代原型車用)

PH-311 EF81用ジャンパ栓セットパーツ2 (EF81300番代重連用)

EF81 300番代用コルゲートパーツの続編です。乗務員窓点検蓋の取付けられた末期の仕様で「301・302号機」「303・304号機」用の各タイプを製作。既発売の原型仕様と同様に真鍮製のコルゲートパーツに前面裾ステップ・ナンバープレート・製造銘板・各種ステー等の小パーツ・テールライトが付属。ナンバープレートは白・黄色文字となりますがこちらの再現用のインレタ及び各種標記インレタも付属します。

ジャンパ栓パーツは300番代の各仕様に対応したセットになっています。原型車用はKE72、重連用はKE72と増設された前後のKE70ジャンパ栓受けとステップに付く収めのセットとなっています。



PH-311 EF81用ジャンパ栓セットパーツ2 (EF81300番代重連用)

後位側はステップに付く収めと共にKE70はジャンパ栓付きとなっています

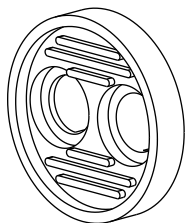
P-182 荷物車用保護棒セット1 (客車用1)

t0.2・ステンレス製の保護棒パーツです。第一弾として旧型荷物客車用を製作しました。荷物ドア窓・荷物室窓・車端のドア窓・貫通ドア用と各種の保護棒がセットされています。荷物ドア・荷物室窓用は使用する形式により各窓の幅に切り出して使用するようになります。

P-234 2灯式シールドビーム2 (気動車用1)

P-235 ライトレンズ1 (透明φ0.9)

10・20・55系等、主に気動車に使用されていた2灯式のヘッドライトパーツ。「P-217 DC用シールドビーム1」の名称変更となります。メタル製本体とレンズの組み合わせの2組入。また、「P-233・234」に使用されている細目のシールドビームレンズを単体で販売します。先端径0.9・取付足0.7mmとなっています。4個入



【16番】

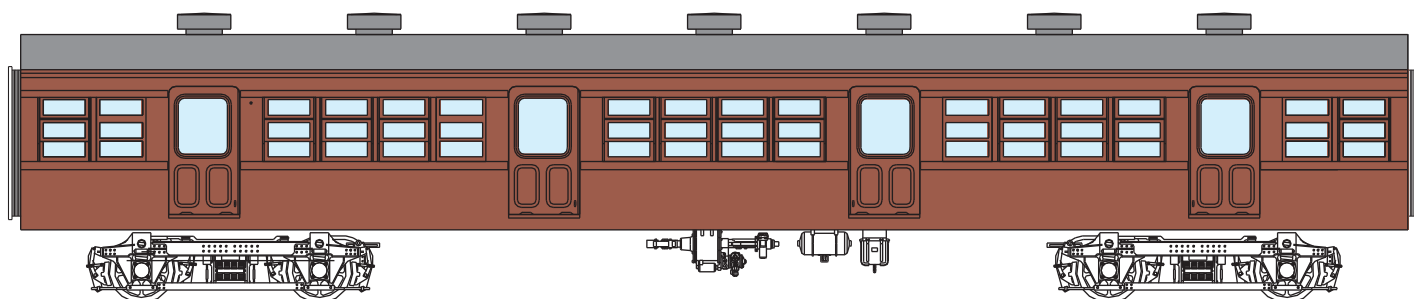
KH-2091 サハ78 (旧63形)

KH-2092 モハ72 (旧63形2:前位窓有)

73形シリーズの新作です。今回は旧63形タイプのサハ78・モハ72です。サハ78は今回は原型3段窓としてあります。モハ72は前位側の妻板の両サイドに窓のある前期更新タイプをプロトタイプとしています。

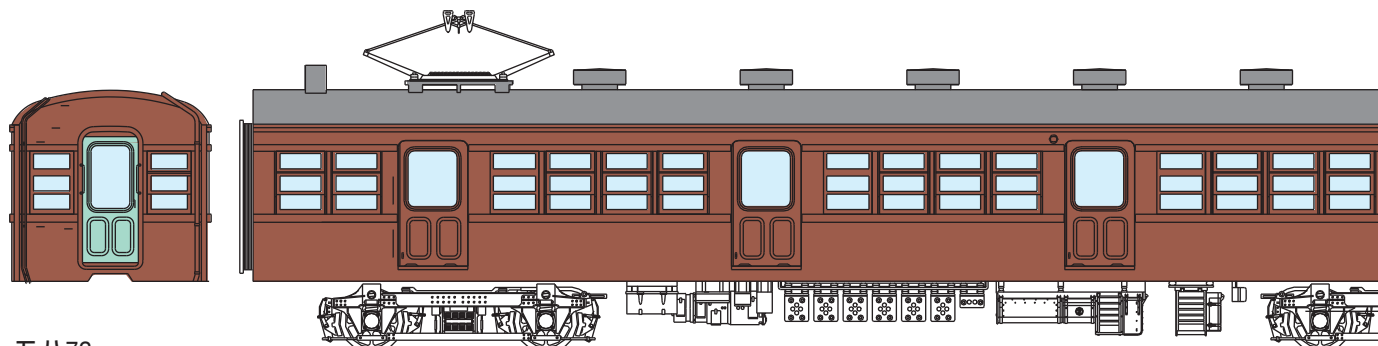
キットは従来の73形キットシリーズに準じています。何れもボディキットで、床下機器は弊社「PH-12015 サハ78用」「PH-12012 クモハ73・モハ72 (旧63タイプ) 用」の各床下機器セットを別途購入となります。モハ72にはロスト製の各種配管止め・パンタ鍵外し線が付属します。床板はMP・パワトラの両方に対応出来るようになっています。各車共にパンタ・ベンチレーター・動力・台車・インレタは別途購入となります。

両形式の発売に合わせてクモハ73・クハ79の再生産も行います。



サハ78

サハ78新製車のためドアは中央を境に両側に開く形になります。ドアはHゴムプレス有が付属します。



モハ72

前位側妻板の両側に窓が付くタイプ。1951年(昭和26)から更新修繕が始まりましたが、1952年(昭和27年)初めまで施工の前期型が該当します。サハ用床下機器を使用してサハ78300番代としても製作出来ます。